

平成24年度 医療放射線防護連絡協議会年次大会

第23回「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」の開催

主催：医療放射線防護連絡協議会

当協議会の年次大会は、高橋信次先生の名前と古賀佑彦先生の名前を冠にして、今年度も12月の第2週の金曜日に「高橋信次記念講演・古賀佑彦記念シンポジウム」として開催致します。

今回は「福島第一原発事故の教訓から医療放射線安全をどの様に見直すべきかを考える」をテーマに、高橋信次講演は唐木英明先生から、原発事故の教訓から学ぶ科学者の役割を食品中の放射性物質の対応を中心に講演を頂きます。教育講演では、樺田尚樹先生の講演があります。また、午後からの「古賀佑彦記念シンポジウム」では、低線量放射線被ばくに関するリスクコミュニケーションをテーマに行います。総合討論では、必要な放射線医療を適切に実施する対応策を参加者の皆様と検討します。医療分野の放射線安全に関わる多くの方々のご参加をお願いします。

日時：平成24年12月14日（金） 10時～16時30分
場所：国際交流研究会館国際会議場（国立がんセンター内）
（プログラム）10:00-

開催の挨拶：佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会会長）

1. 教育講演 10:10-11:00（講演時間40分）

座長：佐々木 武仁（東京医科歯科大学名誉教授）
演題：公衆衛生的見地からみた福島第一原発事故の影響
講演者：樺田 尚樹（国立保健医療科学院）

2. 高橋信次記念講演 11:00-12:00（講演時間50分）

座長：佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会会長）
演題：原発事故の教訓から学ぶ科学者の役割*食品中の放射性物質の対応*
講演者：唐木 英明（倉敷芸術科学大学学長）

3. 古賀佑彦記念シンポジウム 13:15-14:45（講演時間：各20分）

テーマ：「医療被ばくと原発事故による低線量放射線被ばくに関するリスクコミュニケーション」

座長：木下富雄（元日本リスク研究会会長）

- 1) 放射線診療の立場から 中村 仁信（彩都友誼会病院）
- 2) リスクコミュニケーションの立場から 堀口 逸子（順天堂大学医学部）
- 3) 医療放射線安全の立場から 大野 和子（京都医療技術大学）
- 4) マスメディアから立場から 小島 正美（毎日新聞生活家庭部編集委員）

4. 総合討論：テーマ「放射線不安に陥った人への適切な対応策はあるのか」15:00-16:20

座長発言 木下 富雄（元日本リスク研究会会長）
指定発言：金田 直樹（消費者庁消費者安全課 企画官）

◆参加費：5,000円（懇親会：6,000円）

◆申込方法：FAX. またはEメールでお申し込みください。

◆申込先：医療放射線防護連絡協議会

〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45 日本アイソトープ協会内

Fax：(03)5978-6434 電話：(03)5978-6433（月・水・金）

E-mail：jarp@chive.ocn.ne.jp